

清風クラブ

会報 vol.3 2022/3/28発行

〒320-8540
宇都宮市旭1丁目1-5
宇都宮市役所 議会棟 4F
TEL 028-632-2222 (内線2626)
E-mail address
Seifuclub.utsunomiya@gmail.com

令和4年度宇都宮市予算概要

予算の規模 令和4年度当初予算の規模は、一般会計2,246億円、特別会計1,157億円余、企業会計503億円余、総額では、3,906億円余を計上しました。

会計名	令和4年度	令和3年度	比較	
	当初予算	当初予算	増減	増減比
一般会計	224,600,000千円	229,140,000千円	▲4,540,000千円	▲2.0%
特別会計 (11会計)	115,740,008千円	116,020,385千円	▲280,377千円	▲0.2%
企業会計 (3会計)	50,342,995千円	46,012,495千円	4,330,500千円	9.4%
合計	390,683,003千円	391,172,880千円	▲489,877千円	▲0.1%

※一般会計及び、一般会計・特別会計・企業会計の総額は、それぞれ令和3年度に次ぐ過去2番目の規模

- 予算の特徴**
- 安全・安心なまちづくりの推進
 - 「※注NCC 第2章」の幕開け(「つくる」から、「つかう」ステージへの躍進)
 - 「地域共生社会」「地域経済循環社会」「脱炭素社会」の3つの社会の創出
 - 「人」づくりと「デジタル」技術の利活用
の推進



佐藤市長に要望書を提出 (令和3年11月12日)

※注 NCC……ネットワーク型コンパクトシティ

清風クラブ所属議員

身近な議員を中心に
ご意見・ご感想を
お寄せください

皆様方の声をきちんと行政に届ける
ためにこれからも頑張っています。



わた なべ みち ひと
会長 **渡辺 道仁**
城山・大谷地区 等
▶建設常任委員会
副委員長

5期
◆宇都宮市田野町595-47
◆TEL 028-652-7200



もてぎ ゆかり
幹事長 **茂木 祐佳里**
駅東・陽東地区 等
▶総務常任委員会
▶議会運営委員会

1期
◆宇都宮市峰4-24-20
◆TEL 028-678-8280



くぼ い えい ぞう
副会長 **久保井 永三**
上河内・河内地区 等
▶環境経済常任委員会
委員長
▶議会制度検討会議

3期
◆宇都宮市金田町452-1
◆TEL 028-615-7118



ひら まつ あき お
総務 **平松 明夫**
駅東・陽東・清原地区 等
▶文教国体常任委員会
▶広報広聴委員会
▶議会制度検討会議

1期
◆宇都宮市東峰町3060-3
◆TEL 028-666-7085



えん どう しん いち
会計 **遠藤 信一**
上戸祭地区 等
▶厚生常任委員会
▶ICT推進プロジェクトチーム

1期
◆宇都宮市上戸祭町740-35
◆TEL 090-5501-9211

会派の 宇都宮市予算要望 に対する回答 (抜粋)

清風クラブ会長挨拶 渡辺道仁

令和4年度の宇都宮市の予算が成立しました。我が会派の要望は、※注GIGAスクール構想の更なる推進や新型コロナウイルス感染症対策、上下水道の強靱化など、市民の皆様が安全・安心して暮らせ、市民の皆様が寄り添った重要な要望であるため、子どもた

ちの学習環境の整備や新型コロナウイルスワクチン接種に速やかに対応するための接種体制の確保など、皆様身近で大切な部分に反映されました。令和4年度も、市民の声をきちんと行政に伝えることを基本理念とし、誠実に活動していただくと考えております。
※注 GIGAスクール構想……児童生徒1人1台のコンピュータと高速ネットワークを整備する取組

1 子育て・教育・学習分野

重点要望 コロナ禍の本市奨学生及び在住学生に対する経済的支援

本市奨学金制度については、令和2年度から、新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した場合には、弾力的な運用を行っているところであり、今後とも、感染症の影響に伴う経済の動向を注視するとともに、大学等と連携し、学生からの相談状況を把握しながら、学業継続に必要な支援に努める。

2 健康・福祉・医療分野

重点要望 子ども発達センターへの医療的ケア児の支援の充実と、医師の常駐体制を構築する。

令和4年度については、医療的ケア児の家族に寄り添い、その家族の負担を軽減するための在宅レスパイト事業などの実施に向けて、検討を進める。また、現在、非常勤の小児科専門医師6名を当番制により週4日配置しているところであり、今後とも、保護者の意思を尊重しながら、医師の指示のもと、効果的な療育の提供に取り組む。

3 安心・協働・共生分野

重点要望 女性の経済的自立に対する支援の強化及び、※注アンコンシヤスバイアスの解消に向けた理解促進

令和4年度においても、子育て中の女性の就労相談を行うマザーズハローワークの開催のほか、ひとり親に対しては、就職に有利な資格取得のための費用等の助成などの拡充に向けて検討する。
アンコンシヤスバイアスの解消に向けた理解促進については、各世代に応じた効果的な取組が必要であることから、取組の内容や手法などについて検討する。

……無意識の思い込みや偏見

4 魅力・交流・文化分野

重点要望 旧大谷公会堂を中心とした多種多様な施設の連携強化と新たな観光振興の確立

旧大谷公会堂を中心とした多種多様な施設の連携強化については、「大谷観光周遊拠点施設(仮称)整備基本計画」に基づき、地域の象徴的な建物である旧大谷公会堂を含めた拠点施設の整備に令和3年度に着手した。令和4年度においては、効果的な施設運用に向け、多様な事業者・団体へのヒアリング等を行いながら、周辺の観光施設や関係団体との連携強化を図る。
また、「体験」や「学び」などに繋がる観光コンテンツの充実や、周遊性の向上に向けたグリーンスローモビリティの導入を進め、新たな観光振興の確立に向け取り組む。

5 産業・環境分野

重点要望 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている企業・飲食店など関連する事業所に対する支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている企業などへの支援については、「宮の食ベトクチケット」第2弾や「宮の買いトクチケット」の販売による消費喚起を後押ししてきたところであり、令和4年度についても、引き続き、事業者へのアンケート調査などによる事業者の経営状況ニーズの把握に努めるとともに、国・県等の動向を踏まえながら、時機をとらえた適切な支援に取り組む。

6 都市空間・交通分野

重点要望 公営住宅入居における裁量階層世帯条件の中で、子育て支援の観点より、就学前の子供がいる家庭から小学生の子どもがいる家庭までの範囲の拡大

公営住宅入居における裁量階層世帯に子育て世帯まで範囲を拡大することについて、対象世帯の拡大に伴う低所得者世帯の入居への影響などを十分に踏まえながら、裁量階層の対象世帯のあり方を検討する。

久保井 永三 議員 一般質問

令和3年
12月定例会



質問項目

- 1 会派の予算化要望について
- 2 教育行政について
- 3 デジタル人材の育成とAIやRPAの活用について
- 4 上田町地内の盛土に関する問題について
- 5 入札について
- 6 給水管など道路埋設物の管理について
- 7 農業政策について
- 8 財政健全化への取組について

上田町地内の盛土に係る対応状況は

① 上田町地内では、住宅のすぐ隣に7月下旬から残土が搬入され、隣接する住宅の2階より高く盛土されており、大変危険な状態にある。この案件の通報を受けた時点での状況と、その後の対応について聞く。

② 茂木町では、県外からの土砂搬入や改良土による埋め立てを原則禁止する県内初の条例改正が行われた。市でも条例改正が必要と考えるが市の考えを聞く。

③ 盛土周辺の道路は、地域住民の主要な生活道路であり、道路の損傷がひどく、早期の復旧が必要と考えるが、搬入業者への指導、修繕状況について聞く。

答弁

事業者に対し、今後も継続して指導していく

【環境部長】 ① 上田町地内の盛土を確認したところ、盛土の底辺に対して高さが条例の基準を超えていたことから、事業者に対し指導したが、不適正な状態が解消されないため、今後も継続して指導していく。

② 市では、土砂条例で規制するとともに、中核市として産業廃棄物行政を担っており、改良土などの見極めが可能であることから、現時点では土砂条例を改正する必要はないと考えている。

③ 盛土周辺の市道の破損については、土砂搬入者に対し安全確保及び原状回復するよう指導した。

遠藤 信一 議員 一般質問

令和3年
12月定例会



質問項目

- 1 NHKなど第三者への住民票の写し等の交付について
- 2 コロナ禍における心のケア相談窓口の周知啓発と情報発信の強化について
- 3 松田新田浄水場と白沢浄水場について
- 4 大谷地域の振興について
- 5 夏季期間中の本庁舎の空調について
- 6 空き家の活用について
- 7 公共交通の再編について
- 8 上戸祭小学校の通学路について
- 9 選挙ポスター掲示板に関して

上戸祭小周辺の通学路における安全対策を

現在、上戸祭小学校東側に道路を新設する工事が進められている。現場付近は、児童の通学時間帯に車の通りが多く、以前から保護者による見守りが行われてきた。工事により、今後ますます交通量が多くなると思われる。競輪場通りから長岡街道へ続く丁字路交差点に、予告信号灯や通学路があることを周知する看板を設置してはどうか。また、上戸祭小学校正門前から長岡街道、学校東側の新設道路沿いなどに、通学路であることを周知する案内などの設置を検討しているのか聞く。

答弁

現地の交通状況に配慮し、安全の確保に努めていく

【建設部長】 細谷・上戸祭地区では、これまで交通環境の改善を望む声が多く寄せられてきたため、市道1160号線で通学児童の安全確保や交通の円滑化を図るため、4年度の開通を目的に道路整備を進めている。また、この整備にあたっては、学校関係者や地元代表者などと意見交換を行いながら、地区内の交通安全対策に取り組んできた。今後、「予告信号灯の設置」については交通管理者へ設置の要望を行うとともに、「通学路を知らせる案内の設置」については現地の交通状況に配慮しながら検討を行い、引き続き交通安全の確保に努めていく。

渡辺 道仁 議員 代表質問

令和4年
3月定例会



質問項目

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 大谷地域に対する取組について
- 3 保健福祉行政について
- 4 子育て支援について
- 5 医療的ケア児について
- 6 相互理解の促進による共生社会の形成について
- 7 教育行政について

大谷地域の取組について伺う

大谷地域の市道整備や観光交通推進事業の取組、シェアサイクルの実証実験、休憩できる場所や視点場となるような公園の整備、大谷における独特な景観に対する取組、森林公園再整備計画などについて見解を伺う。

答弁

観光地大谷地域の更なる活性化に向け各種事業に取組んでいく

【市長・経済部長】 大谷公園と大谷景観公園の再整備に向け、令和4年度に基本設計に着手する。利

便性や周遊性、景観などに配慮しながら、大谷地内の市道へラウンドアバウト方式の交差点を導入し歩道の整備を行うことや、シェアサイクルの大谷地域での実証実験について検討するとともに、オリジナル自転車マップ作成については、地域振興や自転車の利用促進につながるよう、地域の皆様と意見交換しながら検討していく。そして、国が選定する重要な文化的景観となるよう取組を進め、重要な文化的景観の令和5年度選定を目指す。また、森林公園の再整備に向け令和5年度に事業者を選定する。

遠藤 信一 議員 一般質問

令和3年
12月定例会



質問項目

- 1 NHKなど第三者への住民票の写し等の交付について
- 2 コロナ禍における心のケア相談窓口の周知啓発と情報発信の強化について
- 3 松田新田浄水場と白沢浄水場について
- 4 大谷地域の振興について
- 5 夏季期間中の本庁舎の空調について
- 6 空き家の活用について
- 7 公共交通の再編について
- 8 上戸祭小学校の通学路について
- 9 選挙ポスター掲示板に関して

上戸祭小周辺の通学路における安全対策を

現在、上戸祭小学校東側に道路を新設する工事が進められている。現場付近は、児童の通学時間帯に車の通りが多く、以前から保護者による見守りが行われてきた。工事により、今後ますます交通量が多くなると思われる。競輪場通りから長岡街道へ続く丁字路交差点に、予告信号灯や通学路があることを周知する看板を設置してはどうか。また、上戸祭小学校正門前から長岡街道、学校東側の新設道路沿いなどに、通学路であることを周知する案内などの設置を検討しているのか聞く。

答弁

現地の交通状況に配慮し、安全の確保に努めていく

【建設部長】 細谷・上戸祭地区では、これまで交通環境の改善を望む声が多く寄せられてきたため、市道1160号線で通学児童の安全確保や交通の円滑化を図るため、4年度の開通を目的に道路整備を進めている。また、この整備にあたっては、学校関係者や地元代表者などと意見交換を行いながら、地区内の交通安全対策に取り組んできた。今後、「予告信号灯の設置」については交通管理者へ設置の要望を行うとともに、「通学路を知らせる案内の設置」については現地の交通状況に配慮しながら検討を行い、引き続き交通安全の確保に努めていく。

茂木 ゆかり 議員 一般質問

令和4年
3月定例会



質問項目

- 1 持続可能な公共交通施策について
- 2 区画整理に伴う住居表示について
- 3 保育行政について
- 4 サテライトオフィスの活用について
- 5 行政サービスの利用促進について
- 6 教育行政について
- 7 上下水道事業について

安心して育児休業が取得できる体制作りを

今年4月から改正育児・介護休業法が施行され、企業から従業員への育児取得意向確認の義務化や、育休の分割取得が可能となるなど、取得後押しのための環境整備がますます進められてきている。

しかし、育休と保育園等の入所タイミングを見たとき、受入人数が多い4月の入所にあわせて泣く泣く育休を取り下げしてしまう方も多い。出産の時期に関係なく安心して育休が取得できるような保育所等の受入体制について聞く。

答弁

保育所等への「入所予約制度」導入を図る

【市長】 出産の時期に関係なく、安心して保育所等に入所できる仕組みを構築することは、入所を希望する保護者の負担軽減と子育てと仕事の両立の面からも大変重要である。保護者が十分な育児休業を取得でき、子育てにおける安心感を高められるよう、子どもが1歳に達する半年以上前に入所の申し込みができ、結果も早く分かる「入所予約制度」について新年度中の導入を目指す。